

警備保障タイムズ2025.11.1(土)掲載

※この画像は、当該ページに限って記事利用を承諾したものです。
転載並びにこのページへのリンクは固くお断りします。

「ブライト500」

5年連続で認定

津軽警備保障

弘前」推進企業



①櫻田市長（左）と三上民哉
常務執行役員②社内で開いた
調理イベント（津軽警備保障
提供）



経済産業省などが推進する「健康経営優良法人」で、中小規模法人部門の上位500社に付与される称号「ブライト500」。

津軽警備保障（青森県弘前市、吉田勇太代表取締役社長）は今年3月、5年連続で認定を受けた。

同社は▽インフルエンザ予防

接種の全社員実施▽定期検診の再検査受診率100%▽社内喫煙者ゼロの達成▽フィットネスジムの利用費補助▽栄養バランスをテーマの社内セミナー開催▽ウォーキングを兼ねた地域の清掃活動——などを実践してきた。こうした取り組みなどを弘前市が評価。7月1日に「健康都市弘前」推進企業として櫻田宏市長から認定証が授与された。

10月9日には、同市と大手食

品メーカー・カゴメが締結している包括連携協定に基づき、「あと70℃野菜を食べよう推進事業」で、調理イベントを社内で開催した。社員が本社前で栽培し冷凍保存したミニトマトなどを使い、弘前市食生活改善推進委員からアドバイスを受けて社員が調理、参加者は健康的な食生活に対する意識をより高めた。

山口道子代表取締役会長が積み重ねてきた健康経営を推進す

る吉田社長は「警備業の高品質なサービスを安定的に提供するうえで社員が心身とも健康であることは大切です。日頃の疾病予防はもとより、職場環境の改善も必要。古い習慣などから働きにくい環境となっていないか、社内の窓口で意見を聞いて柔軟に対応していきたい」と述べた。

5年続けての「ブライト500」認定については「健康経営は、採用活動で応募者の増加に結びつくものです。2024年度は71人に面接して32人を採用、18人が定着しています。また、お客さまからの企業選択にもつながっていると実感します。警備業のさらなるイメージアップを図って、若い世代や新卒者の親御さんに「魅力ある職業」であることを伝えていきたい」と話した。